

低山

Low Mount Club

'22.2 No.680



創立 60 年の歴史 **低い山を歩く会**

<http://yamajp.com>

会員総数・67 名 (2022・2・1 現在)

《目次》

2 月号の山行プラン...2~3

山行ルポ.....4~7 日光街道つまみ歩き(その2)/雷電山/笛吹峠/神塚尾根から高水三山/大菩薩
嶺/日光街道つまみ歩き(その3)/龍宝寺裏山と玉縄城址

低山だより.....7~8 60 周年記念祝賀会写真の件/創立 60 周年記念祝賀会および記念誌費用

INFORMATION

2 月の編集委員会 2 月 14 日(月)15 時

会場:IKE・BiZ

2 月の集会・役員会 2 月 25 日(金)15 時

(としま産業振興プラザ)

電話:03-3980-3131

◎12 月の集会・役員会出席者・・16 名 ◎12 月の編集委員会・・5 名

◇山行届・事務報告などあらゆる山行の連絡は リーダーキャップ 熊澤美恵子

電話 090-5318-0292 メール: qqqu9ss9K@basil.ocn.ne.jp

◇集会などに関する問い合わせは 企画キャップ 山本悦子

電話&FAX 03-3903-7535

◇会費の納入などに関する問い合わせは 会計キャップ 眞鍋雅光

電話&FAX 03-3302-2987 (携帯 090-9300-4736)

会費振込先 郵便振替口座記号番号 00150-8-291146 口座名称 眞鍋雅光(マナベ マサミツ)

◇入会・退会・住所変更・会報の発送その他の連絡は 総務キャップ 坂井郁子

電話&FAX 047-384-0347

◇ホームページに関する問い合わせは ホームページキャップ 三ツ谷征志 (電話は下記)

◇編集に関する問い合わせは 7 ページ「低山だより」参照

緊急連絡先

◆阿武信夫(会長)

電話&FAX 048-822-7228 携帯:090-5429-1685

◆熊澤美恵子(リーダーキャップ)

電話&FAX 042-492-6971 携帯:090-5318-0292

◆三ツ谷征志(遭対キャップ)

電話&FAX 042-324-5854 携帯:090-6021-1457

◆村川征津子(保険担当)

電話 03-3828-5207

2月の山行プラン

★10032 回

宝登山と長瀬渓谷
期日 2月5日(土)

A 級

集合・出発 西武池袋線飯能駅 8時54分発長瀬行
電車内(池袋駅 8時5分発急行が連絡)
地図 1/2.5万図 寄居
持物 里山歩き装備、弁当
コース 長瀬駅—ロープウェイ山麓駅=山頂—付近
散策—山頂駅=山麓駅—宝登山神社—荒
川の岩畳—県立自然史博物館—上長瀬駅
(解散、西武秩父又は寄居経由はご自由に)
歩程 2時間
ポイント あまりにも有名な宝登山の蠟梅と展望そし
て地質の勉強。山頂往復ロープウェイ利用
申込み 2月4日(金)午後5時まで
リーダー 森田準之助 04(2946)3011
090(1105)5633

★10033 回

曾我丘陵(梅と富士山)
期日 2月12日(土)

A 中級

集合・出発 JR 御殿場線上大井駅改札 9時25分
参考 小田急新宿駅 7時11分発急行小
田原行 小田原駅 8時46分着 JR 小田
原駅 8時52分発 JR 上野東京ライン上
野行(逆方向に乗らないように注意) 国
府津駅 8時59分着 御殿場線国府津駅
9時10分発御殿場行 上大井駅 9時19
分着
参考 JR 上野東京ライン上野 7時40分
発国府津行 国府津駅 8時59分着
切符 往 JR 御殿場線上大井駅 復 JR 御殿場
線下曾我駅
地図 昭文社/箱根
1/2.5万図 小田原北部
持物 一般登山用具
コース 上大井駅—水車小屋—了義寺—いこいの
村あしがら—浅間山—曾我梅林—六本松
峠—曾我梅林展望見晴台—別所梅林—下
曾我駅
歩程 3時間10分
ポイント 太陽と梅と富士山そして相模湾
申込み 2月10日(木) 20時まで

リーダー 阿武信夫 048(822)7228
090(5429)1685
anno.nobu@ybb.ne.jp

SL 網代節子 03(3636)4793
備考 JR 一本でジパング利用または小田急利用
かどちらがお値打ちか検討ください。梅ま
つりが開催されているようです。おそば、う
どんを扱うお店とつきたての餅を売る売店
もあるようです。貸しむしろというのもある
ようです。ゆっくり春を楽しみましょう。

★10034 回

秩父 小野原峠から天宮尾根 A 中級
期日 2月13日(日)

集合・出発 西武池袋 8時5分発急行飯能行
飯能駅 8時52分着 同発 8時54分
秩父鉄道武州日野駅 10時11分着
地図 1/2.5万図 秩父・三峰
昭文社/奥武蔵・秩父
持物 一般登山用具
コース 武州日野駅—稲荷神社—小野原峠—大天
狗—品^{しんしやう}分岐—品^{しんしやう}往復—薬師堂—秩父
鉄道三峰口駅
歩程 5時間
ポイント 年明けなので今年も無事歩けるようにとゲ
ン担ぎで名前の良い尾根歩きます。
申込み 2月11日(金)まで
リーダー 熊澤美恵子 090(5318)0292
備考 西武鉄道からなら「秩父フリーきっぷ」が便
利かも(駅で確認)

★10035 回

神武寺裏参道から鷹取山 A 中級
期日 2月19日(土) 雨天順延

集合・出発 京急逗子線神武寺駅 10時
(京急横浜駅 9時19分発エアポート急行
逗子・葉山行または金沢文庫 9時46分
発同電車が対応。品川方面から乗車の場合
は三崎口行に乗り、金沢文庫で乗換)
地図 1/2.5万図 鎌倉、横須賀
持物 一般登山用具
コース 神武寺駅—登山道入口—神武寺—鷹取山
—展望台—鷹取山公園—摩崖仏—追浜駅
歩程 約3時間
ポイント 大昔、会の岩登り教室で訪れたことがある
が、現在ロッククライミングは許可制とい

う。年を経たいまは、自然豊かな道と見所の多い寺、360 度の大展望が魅力。

申込み 2 月 17 日(木)まで
リーダー 服部千重子 03(5934)6131
080(1076)1510
備考 下山コースは変更する場合があります。

★10036 回

日光街道つまみ歩き(その4) A 級
越谷宿と越谷梅林
期日 2 月 23 日(水・祝) 雨天中止

集合・出発 東武スカイツリーライン新越谷駅改札前 9 時半
地図 越谷市発行こしがや案内図
持物 タウンウォーク装備
コース 新越谷駅改札前一谷古田河畔緑道—葛西親水緑道—中央市民会館(トイレ)—新石 1 丁目—旧日光街道越谷宿古民家群—北越谷駅東口—越谷梅林公園—元荒川堰堤—北越谷駅(逆コースに変更するかもしれませんが、参加申し込み時にお知らせします)
歩程 3 時間半
ポイント 梅林公園は見事です。また古民家も楽しめそうです。
申込み 2 月 22 日(火)午後 7 時まで
リーダー 森田準之助 04(2946)3011
090(1105)5633

★10037 回

成田山新勝寺とその周辺 A 級
期日 2 月 26 日(土) 雨天順延

集合・出発 JR 上野駅 9 時 8 分発成田行前方車内(12 番線)
(成田駅東口改札 10 時 30 分集合も可)
地図 不要
持物 ウォーキング用品
コース JR 成田駅—表参道—成田山公園—新勝寺—成田駅
歩程 2 時間
ポイント お昼は打ち上げもかねて、川豊のウナギで精進落とし。
申込み 2 月 24 日(木)まで
リーダー 今西光輝 03(6780)1792
080(2043)9897
SL 山崎玉枝 03(3861)3770
080(2370)4799

★10038 回

入山尾根から舟子尾根 A 中級
期日 2 月 27 日(日) 雨天中止

集合 JR 中央線高尾駅北口改札 8 時 25 分
出発 8 時 37 分 美山町バス乗車
地図 昭文社/奥多摩
1/2.5 万図 五日市、拝島
持物 一般登山用具
コース 萩園バス停—琴平神社—536mの P—648mの P—371mの P—沢戸橋(バス)—武蔵五日市駅
歩程 6 時間
ポイント 小さい尾根を繋いで歩きます。
申込み 2 月 25 日(金)まで
リーダー 熊澤美恵子 090(5318)0292

★10039 回

高峰山と水の塔 冬山入門
期日 3 月 4 日(金)~3 月 5 日(土)

集合・出発 JR 大宮駅 7 時 17 分発長野新幹線あさま 601 号
地図 1/2.5 万図 嬬恋田代・車坂峠
持物 冬山装備
コース 佐久平駅=あさま 2000 パークスキー場—高峰温泉—高峰山往復—高峰温泉(泊)—水の塔(往復)
歩程 1 時間/2 時間
ポイント 雪山を見ながら温泉とスノーハイク
申込み 2 月 25 日(金)まで 人数制限あります
リーダー 三ツ谷征志 042(324)5854
SL 大澤幸子 03(3576)4346



山行ルポ



ヤッペン草

★10015回

日光街道つまみ歩き(その2)

A級

期日 11月13日(土)

8名の参加申し込みがあったが、日光駅集合がばらになってしまい、4人づつ別れての行動になってしまった。藤田夫妻と私とゲスト1名の計4人は東武日光駅からタクシーで東照宮まで直行し、他の4人は歩いて同じコースを追いかけたが、2つのグループは最後まで出会うことはなかった。

今日の目的は日光街道杉並木である。改装なった東照宮も見ておきたいが、全長14kmの歩きを頭に入れておかねばならない。東照宮、輪王寺と見て廻ったのち御神橋横を通り駅へ向かう。もう1時前なので居酒屋へ入り昼食をとる。昼食後街道を下今市に向かって歩き出す。時に1時20分。しばらくは車道歩きである。その後車道を離れたり交差したりしながら杉並木の道を歩く。後続部隊もそのうち追いついて来るのではないかと時々後ろをふり向きながら歩いていたが、3時半ごろ熊澤さんからコースを中断して駅へ向かうとのメールを貰う。

道は幅も広く、お駕籠を担いだ大名行列が充分通れるくらいだ。車はめったに通らない。車道に出ればバスもあるようだが1時間に1本あるかどうかである。歩くしかない。地道の箇所は少なく、アスファルトか昔の石畳の道である。大きな杉の木が何処までも並んでいる。所々に観音堂や昔茶店だったような建物も残っているが通行人は全くない。それでも地元の人と会話を交わしたり、買い物をしたりしながらひたすら歩く。もう歩くのも嫌になったが歩くしかない。やっと左へ下る道を見つけて行ったらそこが上今市の駅だっ

た。時に4時40分。丁度来た電車で飛び乗り、次の下今市で乗り換えたら新宿行きの特急だった。

(森田準之助)

(参加者) L 森田準之助・藤田弘治・ゲスト2名、他に別グループで熊澤美恵子・服部千重子・三橋ヨシエ・植村早苗(計8名)

(コースタイム、森田グループ) 東武日光駅 10:20(タクシー) = 東照宮 10:40 - 輪王寺 11:40 - 市内で昼食 12:50 ~ 13:40 - 杉並木東和町入口 13:50 - 観音堂 15:20 - 上今市駅 16:40

★10019回

雷電山

A中級

期日 12月4日(土)

奥多摩行普通電車は、ほぼつり革いっぱいの人出である。天気も上々である。軍畑の駅で降りる客も普段と違い上々である。改札を出て左手に道をとる。

踏切を渡り広いやや登り勾配の舗装された坂道を上がる。橋の手前 Y 字路を左に行くと高水三山方面である。右に行く道を取ったのは我々だけであった。さらに勾配がきつくなった舗装路を登りきる手前で、右手に上から下りてくる人たちが目に入った。雷電山ハイキングコース入口である。いきなりの勾配をひたすら登ること30分ほどで標高 494mの雷電山の頂上に着いた。木が良く育っており見晴らしはあまり良くない。今年の5月に青梅(9981 回山行)から登ったコースを逆に辿っていく。途中犬を連れてご夫婦に会った。また、行きにも帰りにも会い、この人はこの山中に住んでいるかと思わせる女性やここは青梅市民の散歩コースかと思わせるような風情のご夫婦、矢倉台で会った人には、あそこを飛んでいるのは鳥ではなく“オスプレイ”ですと教えてくれる等々、様々な住民?!に出会った。

左手高いところに赤い不思議なものを見つけ現場に上がり確かめると、それは社に植えられた満天星つつじであった。紅葉しているので、神社の赤い建物の一部かと思われたが、秋の風物詩でした。鉄道公園まで行かずショートカットして市街地に出た。通りには豪壮な建物が並び繁栄の面影を感じることができた。

しかし駅前に出て打ち上げの場所を探すも時間が早いせいか見当たらず、駅周りを1周して、なければ帰ろうという事になった時、看板のブラザーミシンの下にビールありの文字を発見。地ビールレストランとは言い難いが数銘柄の地ビールが売りという店であった。5月とそして12月、季節を変えて歩くことも楽しからずということでした。(阿武信夫)

(参加者) L 阿武信夫 SL 網代節子 藤田弘治
(計 3 名)

(コースタイム) 軍畑駅 8:50—榎峠ハイキングコース
入口 9:30—雷電山 10:00—三方山 11:50 昼食—
矢倉台 13:00—梅岩寺(枝垂れ桜樹木葬) 14:15—
青梅駅 14:30

★10020 回

笛吹峠(坂東札所の巡礼道)

A 級

期日 12 月 4 日(土)

JR 八高線 明 覚 駅 から出発。途中、ひと市十字路、町
田屋旅館、弁財天の石碑、旧玉川工業高等学校などを
経て、林の中に工場群が点在する田舎の道を行く。

やがて車道は行き止まりとなり、山道に変わる。こ
こからいかにも巡礼道といった風情がある古道が残
されているのがうれしい。篠竹や雑木林の中に通じて
いる上り下りのゆるやかな道を笛吹峠(標高 80m)

まで行く。峠の名も、足利尊氏に敗れた宗良親王が
月明りにここで笛を吹いたことに由来しているという。
今は、眺望もなく、車道が横切り、東屋やトイレなどが
あり、昔をしのぶすがもない。峠から先は、ヒノキ
林の中の平坦な山道を行く。途中、地球観測センター
に行くも、見学は予約が必要とのことでパス。やがて
市民の森に入る。見晴らしの丘にて昼食。午後はア
カマツと広葉樹の林の中の遊歩道をたどり、最初に物
見山(標高 135m)を訪れる。そのあと正法寺(岩殿観
音)に立ち寄る。観音堂のわきにある巨樹のイチヨウの
葉の衣は、黄色の絶頂期。圧倒的な黄葉の景觀に息を
のむ。

寺からは、昔の屋号がかかっている家が並び門前町
を通り弁天沼に行く。あとは車道を月ヶ丘バス停まで
歩き、高坂駅に出る。(今西光輝)

(参加者) L 今西光輝・SL 服部千重子・奥山富士子(計
3 名)

(コースタイム) 明覚駅 9:20—旧道入口 10:20—笛
吹峠 10:50—市民の森見晴台 12:10~12:30—
物見山 13:00—岩殿観音 13:20—月ヶ丘バス停—
高坂駅 14:20

★10021 回

神塚尾根から高水三山

A 中級

期日 12 月 5 日(日)

前回、2/28(日)に、熊澤 L の夕倉山から永栗ノ峰、そ
して慶徳寺へという山行があった。その時は、伏木峠

から永栗ノ峰コースに向かうが、なちゃざり林道にぶ
つかって、そのまま軍畑駅へ。今回は、リベンジする為
に、別の登山口から入って、永栗ノ峰から慶徳寺へと
向かう山行であった。L は、全部納得しないと、何度も
挑戦する。その姿勢が、ひとつの山を制覇できたとい
う自信につながる。そして、満足できる。私も、何回か
L の山に付いていき、その姿勢を勉強させてもらっ
ている。

今回は、川井駅から林道沼沢線に入り、鉄塔目指し
て、登山口を見つける。No.33 の鉄塔が見つからず、皆
で、右往左往する。それらしきピンクのテープが怪しい。
そこを見定めて、踏み跡をたどって行くと勾配がきつ
くなり、20 分位登った所にあった。No.33 の鉄塔が。
ホット安堵もつかの間、ここからが長いスタート。次の
目指す神塚山(624m)は、あの辺り。勾配は、さらに
増していく。足跡の薄い尾根らしき道を忠実にたどる。
倒木をまたぎ、木の根っ子をつかみ、きつい勾配に登
って行く。着いた！ 立派な祠のある惣岳山
(756m)。ここは、関東ふれあいの道。これまで、誰に
も会わず登れたことに至福の喜びを感じた。惣岳山か
ら高水山までは、見晴らしの良い一般登山道。若者達
があちこちで、食事や団欒をしている。我々は、岩茸石
山の山頂で、景色を見ながら、ゆっくり、昼食タイム。
晴々とした青空のもと、山の景色は最高の御馳走だ。
いよいよ、後半の難関ルート、永栗ノ峰コースへ。地図
を見ながら、慎重に下りて行く。分岐点と目印になる
ものには、神経をはらって。二級基準点までは、上手く
行ったが、最後の最後に歩きやすい尾根道に惑わされ
てしまい、慶徳寺に行けず。また、次回の宿題になっ
てしまった。ツメが甘かった。

ところで、こんな達人の道に異様な団体が来て、驚
いた。よくみると、地図読み山行のツアーの勉強会で
来た若者達であった。バリエーションルートは、なか
な難しい。だからこそ、地図読み、山域、山容、地形が
わからないと、道迷いになってしまう。とても、貴重な
山行であった。(藤沼淑江)

(参加者) L 熊澤美恵子・三橋ヨシエ・藤沼淑江
(計 3 名)

(コースタイム) 川井駅 9:15—鉄塔 10:10—惣岳山
11:05—岩茸石山(昼食) 12:40—高水山 13:15—
永栗尾根入口 14:00—榎峠 15:20—軍畑駅 16:
10

★10023 回**大菩薩嶺****A 中級****期日 12月11日(土)**

コロナが落着き約 2 年ぶりに会山行を計画した。申込者はなく、一人で山に向かう。バス利用の計画だったが、私有車で大菩薩峠バス停の先の丸川分岐まで入り駐車。上日川峠まで歩いて登った。峠には休日のため多くの登山者が出発準備をしていた。2 日前の降雪で雪山模様。福ちゃん荘先から旧道に入る。トレースは微かに残っているものの、人の気配はなく静寂に包まれる。登るにつれ積雪が増し吹き溜まりでひざ程度。賽の河原が近くなると樹林帯から解放され、大菩薩嶺の主稜線を見上げながらの登りとなる。何時きてもここからのアングルは登高意欲を掻き立てられるロケーションだ。山腹が雪と笹のコントラストにより、ジャガーの縞々模様のような。主稜線に出ると雪の富士山、南アルプスの大展望。快晴で風も穏やかで気持ちいい。山頂手前の展望の良い場所で昼食をとり大休止。山頂を素通りして樹林帯の雪道を丸川峠に下る。峠から少し下ると雪は消え、沢沿いの単調な道を駐車地点へ。帰路、大菩薩の湯に浸かり疲れを癒した。

(参加者) L 小松浩文 (1 名)

(コースタイム) 丸川峠分岐点 P(駐車) 9:00—上日川峠 10:20—賽の河原 11:30—大菩薩嶺 12:10—50—丸川峠 13:40—14:00—丸川峠分岐 P 15:00

★10024 回**日光街道つまみ歩き(その3)****宇都宮市内散策****A 級****12月12日(日)**

JR 宇都宮駅に集合、今日は4人でした。観光案内所でマップをもらい、この案内通り歩くようだ。

まず奥州街道と日光街道の交差点にある旧篠原家住宅へ。百年前に建てられた旧家で醤油醸造業、肥料商を営んでいたそうです。黒漆喰や大谷石を用いた外壁が立派でした。中も見学でき、箱階段があり結構登り下りが怖い。一階、二階に立派な座敷、床の間がありました。しかし戦火でこの主屋と石蔵を残して隣にあった醤油醸造蔵は焼失してしまったそうです。

次にお寺が並んでいる道を進み餃子通りに、両側に何軒か餃子屋さんが並んでいました。みんなというお店に人だかり、店員さんに何分待ちですか?と聞く

と1時間半との答え、まだ11時を過ぎたばかりなのにびっくり。次にこんもりした山に林が見え、行ったら二荒山(ふたらやま)神社でした。境内下広場は出店、音楽生演奏でフラダンスを踊っていました。正面の急階段を上って行くと広い境内と神社があり、七五三詣りの家族がたくさんいました。七五三は11月15日なのに栃木は一月遅れ?。下りは女坂を行き、次に県庁へ行きました。

立派な建物で周辺もたっぷり広場をとっていて、正面に大きな石でできたイチゴのオブジェがありました。さすがとちおとめの県、県庁の15階展望室へ。眼下に宇都宮市街地を見下ろし、360度の景色。北に雪のついた男体山、女峰山、日光白根山がよく見えました。浅間山や筑波山はカスミで見えませんでした。15階にはレストランがあり、ここで昼食、ゆったりしてサービスもよく、歓談しながら楽しい時間を過ごしました。

その後繁華街を通り、東武宇都宮百貨店の前を左折して松が峰教会へ。大谷石造りのロマネスク様式のおごそかな教会でした。中は見学できず外観を鑑賞しました。その近くに樹齢約四百年のイチヨウの巨木がありました。葉っぱは落ちていましたが、空襲で燃えてしまった翌年に新芽が萌え、復興の象徴となったそうです。

宇都宮市役所前を通り、宇都宮城址公園へ。かわいい本丸と櫓が建っていました。その後まっ黄色で見頃のいちよう並木通りを通り、さらさらと流れる田川沿いを歩いて JR 宇都宮駅へ着きました。皆さんは駅前で餃子で打ち上げとのことでしたが、私は後ろ髪を引かれる思いでひとり帰路につきました。(植村早苗)

(参加者) L 森田準之助・藤田弘治・植村早苗・ゲスト1名(計4名)

(コースタイム) JR 宇都宮駅 10:10—旧篠原家住宅 10:25—45—二荒山神社 11:30—栃木県庁展望階 11:45—13:40—松が峰教会 14:10—市役所前 14:30—宇都宮城址公園 14:40—JR 宇都宮駅 15:20

(L 後記) 宇都宮はさすが歴史ある都市、戊辰戦争、米軍大空襲で焼かれたとはいえ、満足できる日帰り観光が出来た。中でもゆったりした敷地に建った県庁舎は強く印象に残った。

★10025 回

龍宝寺(鎌倉市)裏山と玉縄城址

A級

期日 12月18日(土)

大船駅の駅弁が好きで昼食用に二色弁当を買った。JRの車窓から誰も見ている白亜の観音様を参拝する。皆初めてらしい。紅葉と青空に柔和なお顔が映える。竹林を背に小高い庭から世界平和を願っているという。胎内の黒い観音様を拝顔して下山した。

車道を少し行き、民家の間の細い道を入ると階段があり岡本神社だ。平安・室町・徳川時代と玉縄氏に侵攻された歴史の舞台の始まりだ。ヤブ椿とドングリの落ち葉の山道を登って行くと、栄光学園のコートがあり、頂上に北条氏供養塔跡がさびれてある。(現在は龍宝寺境内に供養塔がある)

南側の鉄塔が立つ尾根を注意深く下り、龍寶寺の境内に出た。咲き始めたカンザクラの下を借りて昼食にする。花の寺も閑散として城主の菩提寺らしい。境内にある「玉縄ふるさと館」のジオラマで遊び、城址をめざして三つ目の山、七曲り坂を登ると太鼓橋跡がある。少し進むと女学校の門に「玉縄城址跡」の看板があり、遺構は校内にあり入れない。周りの施設跡を偲ぶ。

この界限で柚子を頂き、百円スタンドの鎌倉野菜を買い占めて、切通しの「ふあん坂」を下る。諏訪神社へ寄りなかつたので(久成寺)がおまけで終了となる。私事ですここは母方の菩提寺で年末にお参りができて嬉しいことでした。

大船の駅ビルで打ち上げをすると、JRの事故でしばらく足止めされた。大きなおまけだった。

(三橋ヨシエ)

(参加者) 服部千重子・井上恵子・今西光輝・内田恒子・奥山富士子・桑崎せつ子・三橋ヨシエ(計7名)

(コースタイム) 大船駅 10:00—大船観音 10:05~20—岡本神社 10:45~尾根・北条氏供養塔跡 11:05(道探し)~25—龍宝寺 11:50~12:30—七曲り坂下 12:50—太鼓橋跡 12:55~13:00—玉縄城址案内板周辺 13:05~20—ふあん坂 13:40—大船駅 14:15

低山だより

◎2月の山行プランについて

本2月号掲載の山行プラン8本(グレードの内訳、A級3本、A中級4本、冬山入門1本)が12月21日の役員会で了承されました。

◎令和4年(2022年)3月の集会・役員会は3月31日(木)、編集委員会は3月14日(月)です。

◎12月21日の集会出席者(順不同)

服部千重子・奥山富士子・井上恵子・熊澤美恵子・網代節子・植村早苗・金沢正秋・三田村久子・武井光子・森田準之助・三橋ヨシエ・横塚征一郎・石川泰男・眞鍋雅光・村川征津子・阿武信夫

計16名

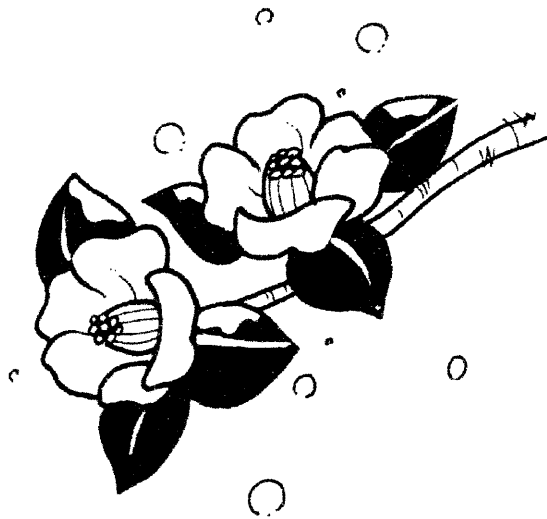
◎60周年記念祝賀会写真について

先月1月号に掲載されていた写真は、印刷機の関係で、見づらい写真となってしまう、申し訳ありませんでした。今月号にカラープリントし直したものを会員全員に同封することを12月の役員会において決定しましたので、ご了承ください。

◎編集に関する問い合わせは

編集 C 三田村久子

TEL&FAX 03(3630)0988



60周年記念行事はコロナ禍により延期したバス山行を除き実施することができました。ひとえに会員皆様のご協力のおかげと感謝しております。バス山行も来春草々に実施したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

さて、新橋亭で催された記念祝賀会および記念誌の会計報告は下記のとおりです。何かご不明、疑問な点などありましたら遠慮なくメール、電話でお尋ねください。

創立60周年記念行事実行委員会 阿武信夫

記念祝賀会および記念誌「60年の歩み」会計報告

祝賀会

収入		支出	
会費 @5000×33名	165,000	新橋亭 @5000×33	165,000
会からの補助	88,734	記念品 菓子@1296×33	42,768
		花 アレンジメント 1台	11,000
		同上持込タクシー代	2,340
		持ち帰り花用包装紙	220
		横断幕 式次第 用紙	3,000
		L感謝贈呈(図書券@2000×6)	12,000
		感謝状用紙	489
		委員事務連絡費 @500×7	3,500
		案内往復はがき @126×65	8,190
		延期通知はがき @63×60	3,815
		(印刷ミス取替料含む)	
		記念写真代及び印刷用紙追加購入	1,232
		上映DVD郵送	180
計	253,734	計	253,734

記念誌

収入		支出	
会からの補助	118,161	印刷代 @1155×70	80,850
		編集および諸経費	30,000
		記念誌原稿依頼切手@84×20	1,680
		プリンターインク	3,745
		コピー用紙	110
		印刷所宛速達便	380
		銀行振込料	220
		記念誌発送封筒代	1,176
	118,161		118,161

収入		支出	
会費	165,000	祝賀会	253,734
会からの補助	206,895	記念誌	118,161
総合計	371,895	総合計	371,895